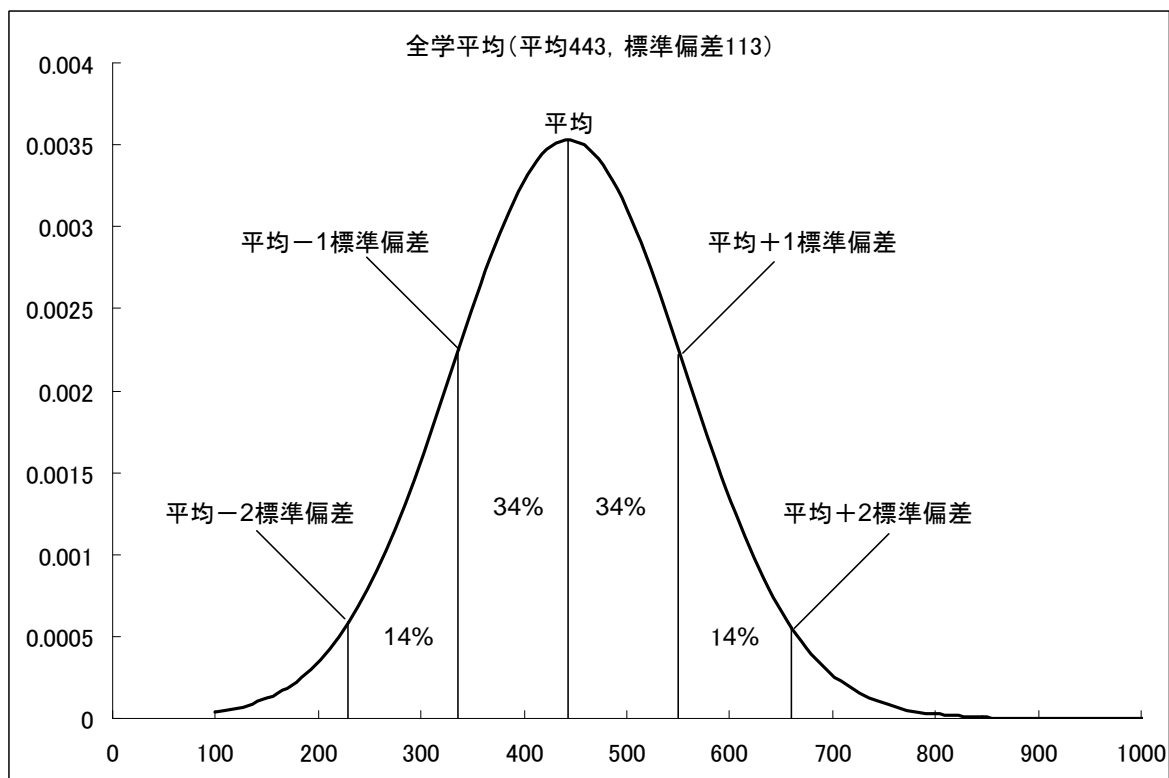


付録：標準偏差の解釈方法（全学のスコアが平均 443，標準偏差 113 の場合）



◎得点が正規分布すると仮定したとき，次のように分布すると考えられる。

- ・平均から+1標準偏差まで，もしくは，平均から-1標準偏差までに，それぞれ約34%
- ・+1から+2標準偏差まで，もしくは，-1から-2標準偏差までに，それぞれ約14%

◎標準偏差は，集団のばらつきの指標として活用できる。

- ・標準偏差が小さいほうが，ばらつきが少なく，分布が左右に広がっていないと解釈できる

◎したがって，たとえば平均 443，標準偏差 113 のとき，次のように分布すると考えられる。

- ・217点から330点までに約14%
- ・330点から443点までに約34%
- ・443点から556点までに約34%
- ・556点から669点までに約14%